

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区ガバナー 江崎 柳節

人生の記録【撮影 江崎 柳節】

ガバナー月信 No.2



ロータリーは
分かちあいの心

2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ

ガバナーメッセージ……………2	国際ライラ報告……………10
会員増強月間によせて……………4	インターアクトクラブ協議会開催報告……………11
拡大月間によせて……………5	第1回地区諮問委員会……………12
各クラブの会員増強の活動方針……………7	第1回ガバナー補佐会議……………12
表敬訪問報告(7/2知事、7/3小牧市長)…8	会議開催のお知らせ(8月に開催予定の会議)……………13
国際大会報告……………9	その他お知らせ・案内事項・文庫通信……………14

8月

2007年8月1日発行

One Difference 違いをもたらそう

2007～2008年度
国際ロータリー第2760地区のテーマ



Governor Message

奉仕こそ

クラブ会長各位 クラブ幹事各位

クラブ会長、クラブ幹事の皆様、はじめの1ヶ月が過ぎました。如何お過ごしでしょうか。

今月はロータリーの第2ターゲットについて申し上げます。

3年ごとに国際ロータリーでは“規定審議会”が開かれます。この会議でいつも繰り返される審議があります。今年もこの会議で同じ議論がなされました。ロータリーの第2のターゲットを廃止する提案なのであります。賛成の意見も多い中、小差で否決されたようです。これは規定審議会の度に提案され、ある時には理事会付託となった年もありましたが我が国の代議員が“これを可決されては日本に帰れない”と頑張って理事会否決となったと聞いています。

この素晴らしい第2モットーはご承知の

He Profits Most Who Serves Best

(最も良く奉仕するもの、最も多く報われる。註今年の規定審議会ではTheyをHe/SheにするかOneに統一するか考慮中です。)

このロータリーの魂のようなテーマのどこが問題なのでしょう。最近では、主として性の表示にかかる表現である所から問題視されていましたが、以前からもう一つ、Profitの内外に於ける解釈の問題がありました。我が国では“報いられる”と訳していますが他国でも利潤、得などの意味合いが可成り入り交じっていて不純な表現だと思われています。

この“報いられる”の解釈についてはシェルドンがすでに1910年代に明快に定義しています。彼は1913年ミシガン大学経営学部で販売学を修めた人です。彼は図書の訪問販売の経験をもとに、経営と理念について学問的にこれを組み立てその地に経営学スクールを建てることによって彼の取引のバランスを科学的に、体系的に、哲学的に人々に教授する努力を続けました。当時のシェルドンは“He Profits Most, Who Serves Best”の哲学の理念をシアトルやミネアポリスの多くの経営者に教え、その教えを信奉した卒業生の多くがそれぞれの土地のロータリアンになったと記載されています。

シェルドンの解釈による“Profit”は概略以下の通りであります。“Profit”には3つの深い意義が含まれています。

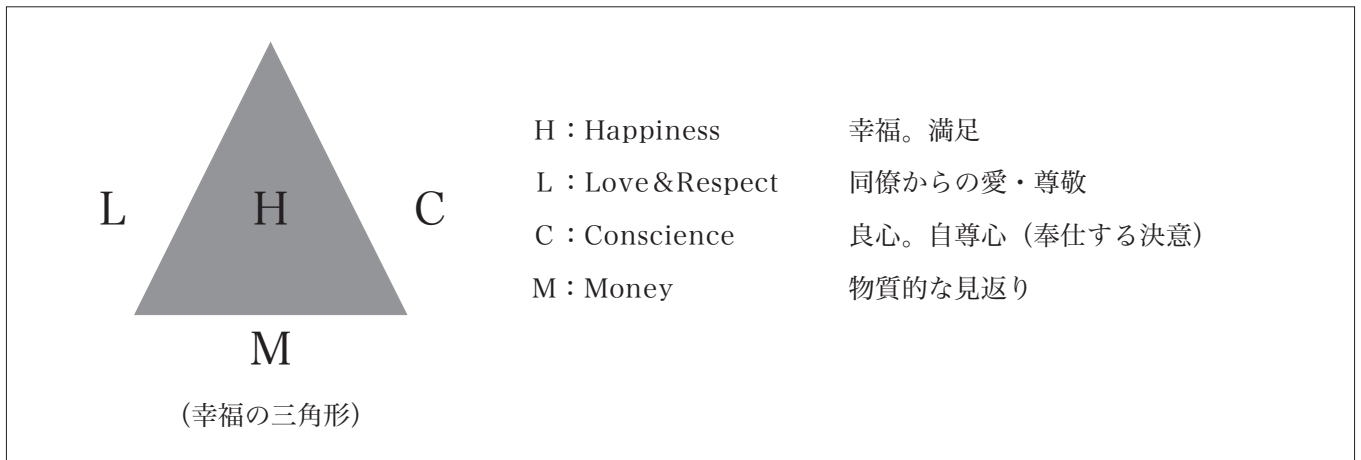
- 1) 人に奉仕をすると相手から尊敬または愛情のお返しがある。
- 2) 人に奉仕をすると自分自身に良心の満足、自尊心が発露する。

己が至幸

国際ロータリー2760地区ガバナー 江崎柳節

3) 人に奉仕をすると物質的な見返りがある。

どんな職業においても相手方の尊敬と自分の良心を壊してまで自分に経済的見返りを求めるのは真の“Profit”にはなりません。このような利益は自分を幸せにしないばかりか社会の公序良俗を著しく損ね社会から軽蔑されます。この3項目のProfitの考え方は別に“幸福の三角形”(下図)としてこの3因子がサンスクリット哲学派のタゴール等によって示されています。



さて奉仕 (Service) は本当に奉仕する者を比類なく幸せにするか。この命題はひとりロータリーだけでなく古くは宗教界から新しくは医学の面から実証され科学大系として検証されてきているように思われます。たとえば医学分野でも“最も成功した高齢者の意識調査”で、一番自分をして満足な生涯であったと思わせる項目は“奉仕から得られる、そこはかたない他人からの暖かい尊敬と感謝の心だ”という検証があります。うなずける調査ではないでしょうか。もうとっくにご承知のこととは存じますが、もう少し、機会を得てこのことの続きを書かせて頂きます。

会長幹事の皆様ご自愛の上思いう存分のご活躍をお祈りしております。

会 員 増 強 月 間 に よ せ て



全国会員増強セミナー報告

国際ロータリー第2760地区会員増強委員長 菊 岡 深智子

過日、2007年6月3日(日)全国会員増強セミナーが東京都グランドプリンスホテル新高輪で開催されました。

国際ロータリー理事・重田政信氏、国際ロータリー理事・渡辺好政氏、国際ロータリー理事・エレクト・小沢一彦氏のご挨拶のあと、元国際ロータリー理事・板橋政雄氏の講話と関場慶博氏の分科会の意義と進め方を聞いて、第1～第4分科会に分かれて勉強会を実施した。

○ 第1分科会テーマ

会員増強に向けて、自分自身を今一度見直そう。

ーロータリアンとはどのような人達なのか?ー

リーダー 関 場 慶 博 RRIMC サブリーダー 桑 原 茂 RIMZC

○ 第2分科会テーマ

DLP・CLPを会員増強にいかにかすのか?

ークラブがロータリーの核心ー

リーダー 松 宮 剛 RRIMC サブリーダー 藤 林 豊 明 RIMZC

○ 第3分科会テーマ

会員の質的充実と退会防止は新入会員の教育から。

ークラブで地区でなすべきことは?ー

リーダー 服 部 芳 樹 RRIMC サブリーダー 井 上 暎 夫 RIMZC

○ 第4分科会テーマ

真の会員増強を目指して。

ークラブの例会のあり方は?ー

リーダー 西 村 栄 時 RRIMC サブリーダー 永 富 稔 RIMZC

地区会員増強委員会活動方針

ガバナー江崎柳節氏の方針である「クラブ基盤の強化：会員純増2名を実現しましょう」を受けて、純増2名の実現が委員会の最重要テーマです。純増2名を可能にすべく地区会員増強委員会と各クラブの会員増強委員会の連絡を密にして地区・クラブが協力して実現に向けて努力して参ります。活動として地区会員増強委員会並びに地区内クラブ会員増強委員長会議を開催いたします。また、各クラブへの訪問を通じて会員増強の方策のお手伝いを委員会上げてご協力して参ります。

- 第1回 地区会員増強委員会を5月15日(火)ガバナー分室で開催。
- 第2回 地区会員増強委員会を6月12日(火)ガバナー分室で開催。
- 第3回 地区会員増強委員会を7月10日(火)名鉄ニューグランドホテルで開催。
- 地区内クラブ会員増強委員長会議を7月23日(月)名鉄ニューグランドホテルで開催。
- 第4回 地区会員増強委員会を9月12日(水)名鉄ニューグランドホテルで開催予定。

以上、皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

拡大月間によせて



地区拡大委員会活動方針

地区拡大委員会委員長 松尾隆徳
(春日井RC)

8月は会員増強および拡大拡大月間です。
年度の開始にあたり地区拡大委員会の活動方針をお知らせします。是非とも拡大（クラブ新設）にむけて行動を起こしましょう。

【 I 】 拡大の意義

ロータリークラブが奉仕の精神にもとづき、自国や海外に於いて人道的活動を継続発展させるためには、より多くの会員が必要であり、より多くの財源が必要である。

従ってクラブ数を世界中で増加させ（拡大）クラブにあつては会員数を増加（増強）させねばなりません。

国内でも海外でも人道的奉仕活動を拡大す使命がロータリークラブにはあるのです。

【 II 】 基本方針

地区ガバナー方針にもとづき地区内に於けるクラブ新設の気運醸成をはかる。

1. 前年度委員会の行った「地区内拡大調査」結果を活用しクラブ新設の気運醸成につとめる。
2. クラブ会長への拡大の必要性PR
3. 拡大意向のあるクラブには積極的に協力する。

【 III 】 地区に於ける拡大についての約束ごと

1. 地区ガバナー
新クラブ結成の責務を担う。
2. 地区拡大委員会
ガバナーの指示のもと、地区拡大委員会は地区内に新クラブを結成するための計画を立て実施する。
(イ) 新クラブ結成の可能なロータリークラブのない地域社会を特定する。
(ロ) 既存のクラブにマイナスの影響を与えることなく、又既存クラブが地域社会に提供している奉仕活動を損なうことなく新クラブを設立できる地区を支持する。
(ハ) ガバナーの指示に従って新クラブの結成や設立を援助する。
3. クラブ会長
地区で新クラブ結成の機会を模索する。
そのため、地区拡大委員会と連携を深める。

**【 IV 】 拡大は誰がするか**

地区拡大委員会ではありません。各クラブの会長さんの熱意、号令のもとでクラブ全会員が一致協力して行うものであります。

地区拡大委員会は拡大に向う意欲の火付け役であり、その応援者であります。各クラブが現在享受している奉仕の喜びを次なる仲間にも共感してもらう機会・場づくりのパートナーです。

【 V 】 拡大の条件・方法・視点

1. 会員数は20人以上ですが職業分類の原則があります。現実には40人位は欲しい。
2. スポンサークラブの熱意・誠意とクラブとしての意思決定が必要。
我が子を産み育てる慈しみの心
3. 急がず着実に進める。
4. 投下できる費用の限界を考える。
低コストのロータリーがあっても良いのでは。
5. 地域の実情に即したクラブ運営を。
例会の場所・時間を広く。昼にこだわらず夜でも早朝でも
6. 女性を重視
7.

【 VI 】 最近の拡大事例 2000年以降

2000. 1	三河安城R.C	(安城R.C 西三河分区)
2000. 3	豊田中R.C	(豊田東R.C 西三河中分区)
2002. 6	愛知長久手R.C	(瀬戸R.C 東尾張分区)
2003. 4	大府R.C	(東知多R.C 南尾張分区)
2005. 6	名古屋葵R.C	(名古屋北R.C 東名古屋分区)

【 VII 】 2007～2008 拡大委員会メンバー

カウンセラー	豊島徳三	(一宮北)
〃	大島宏彦	(名古屋)
〃	高橋治朗	(名古屋西)
委員長	松尾隆徳	(春日井)
副委員長	北野庸夫	(海部)
委員	齋藤慎一郎	(名古屋守山)
委員	菅井龍一	(岡崎)

各クラブの会員増強の活動方針

▶岩倉ロータリークラブ

会員増強委員長 丹羽規之

私共、会員数19名のクラブと致しましては、会員増強以前に、現会員数でクラブの健全運営を如何に行なうかが最重要課題であります。

2003年3月、バブル経済崩壊等の要因で大幅な会員減少に見舞われ、クラブの存続、合併、解散を視野に検討をせざるを得ない状況に陥りました。

パスト会長会、全会員を3グループに分け、会議を重ね、本音でロータリーを語り、クラブ存続を会員の総意で決定いたしました。

クラブ存続の為に「岩倉ロータリークラブ改革委員会」を設立し、改革案の作成に取り組みました。改革案の骨子は、例会場・事務所移転、事務局員の勤務体制変更（パート）、会長・幹事候補者にパスト会長再任、祝福記念品の取止め、各登録料会員負担、会報作成費用の削減、年会費・入会金等の見直しであります。

以来、4年間が経過し、クラブ運営経費の削減、会員の理解と協力により、ロータリーに対する思いを全会員で共有することで、将来にわたり、地域に根付き、存続できる新生岩倉ロータリークラブの基礎が確立出来たと思います。

岩倉市は人口約4万8千人、事業所も少なく、従来より会員増強には苦勞しておりましたが、昨年始めて女性会員の入会もあり、今後はロータリーの基本理念、職業奉仕を通して地域社会に貢献し、女性会員を含めて、全会員で会員増強に努力すべき時と考えております。

以前の失敗を繰り返すことの無いように、社会情勢、経済環境の変化があろうとも、ロータリアンとしての誇りを持って、また終身会員として、ロータリー活動に専念できる会員の増強に努めたいと思います。

▶名古屋みなとロータリークラブ

会員増強委員長 杉浦弘

2007～2008年度クラブ計画書に記載の委員長報告は下記のとおりです。

1. 活動方針

○本年度5名の純増を達成する。

○特色のある人材の加入、増強がクラブの活性化をもたらし、クラブの活性化が入会希望者の増加を促進するという好循環のクラブ体質を実現する。

2. 実施計画（実施予定日）

(1) 会長、幹事、会員選考委員会、会員増強委員会、会員増強支援チームで構成する会員増強会議を年6回開催し、会員増強に関するPLAN、DO、CHECK、ACTIONを推進する。

(2) 例会に於いて、会員増強に関する全会員の理解と積極的な協力を要請する。

席上全会員に会員増強の候補者リストカードに記入をお願いし、テーブル毎にグループ討議を行う。

以上

我がクラブは長年会員の減少が続きましたが、前年度9名の新入会員を迎え、6名の純増を達成いたしました。このような成果を得られた最大の理由は、従来のような大幅な会員の減少がそのまま続くと、やがてクラブの活動、維持にまで重大な支障をもたらすという危機感を、会長以下全員が共有し、会員増強をクラブの重要課題と意識して活動を続けたこととあります。

会員増強は会長、幹事、会員増強委員長任せにせず、全会員の協力が必要といわれております。まさにそのとおりですが、全会員の関心を高め、協力を得るためには夫々のクラブなりの仕掛けが必要です。我がクラブではその仕掛けを考え、実行し、最後までフォローしていくのが会員増強会議です。

長年の会員減少に歯止めをかけ、増加に転じた前年度を契機として、クラブを活性化し、年々会員が増加し続けるクラブになることを目指しております。

▶名古屋錦ロータリークラブ

会員増強委員長 後藤博文

1、会員ひとりひとりがクラブの未充填職業分類をチェックして身の回りの人に声をかける努力を計っていただきます。

2、知人に昼食を共にする感覚で例会に参加していただく機会を作っていただけたらと考えます。そしてクラブの雰囲気少しでも感じ取っていただいて入会の促進を図っていただけたらと考えます。

3、新規会員が入会しても退会者があれば増強になりません。退会者を出さない工夫を皆さんと共に考えたいと思います。

4、地区会員増強委員会会議に出席して他クラブの会員増強も参考にしたいと思っております。



国際ロータリー第2760地区 江崎 柳節ガバナー

神田真秋 愛知県知事を 表敬訪問



7月2日、江崎柳節ガバナーは本年度の初仕事として、河村嘉男地区幹事とともに神田知事を尋ね愛知県知事公舎を訪問いたしました。梅雨の合間の晴天に恵まれる中、神田知事にはにこやかにお迎え頂き和やかな雰囲気ですぐに歓談が始められました。

江崎ガバナーは、新年度にあたり地区運営の抱負を述べられると共に、11月17日、18日の両日に開催される地区大会への出席を要請されました。

神田知事は、「歴代ガバナーのご苦勞と激務を存じ上げているので、医者が無用心にならないように健康管理には是非気をつけて頑張ってください。」と、江崎ガバナーに励ましと友情の言葉を送られ、「ロータリークラブの盛大な地区大会にはほとんど毎年特別な用事の無い限り出席しているのので、調整の付く限り出席させていただきます。」と11月の地区大会での再会をお約束されました。



国際ロータリー第2760地区 江崎 柳節ガバナー

小牧市 中野直輝市長を 表敬訪問



2007年7月3日江崎柳節ガバナーは当地小牧市初のガバナーとして、河村嘉男地区幹事・船橋茂行地区副幹事と共に中野市長を尋ね、小牧市公舎を訪問いたしました。

公務多忙の早朝にもかかわらず、中野市長は歓待なされ、和やかな中に歓談が始められました。

江崎ガバナーは本年度の地区運営方針を語られるとともに、11月の地区大会への出席を要

請なされ、又地区大会第2日目の“パークアリーナ小牧”会場使用にも厚くお礼と感謝を述べられました。中野市長は小牧市初のガバナー誕生の喜びと、地元小牧市での地区大会開催にあたり感謝の意を深く表され、また地区大会での再会をお約束されて、お互いの健闘を誓われました。



国際大会報告

6月13日～20日

SALT LAKE CITY/UT

06年度の国際大会は米国ソルトレークシティ（ユタ州）にて行われました。

この大会には147ヶ国から16,500名の参加がありました。

- 1) まず大会前に行われました公式プログラムとして、国際RYLAが招待者限定で開催され2760地区からは2名のライラリアントと2名の地区委員が当地区では初めて参加し大きな収穫を上げました。（別項参照）
- 2) 大会初の世界平和シンポジウムが開催され日本からロータリー平和フェロー岸谷美穂さん（中曽根賞受賞）が記念晩餐会で講演されました。（写真1）
- 3) 香港で全員が財団大口寄付者（1万\$以上）のクラブが出現し表彰されました。（写真2）
- 4) 世界で活躍する2名の財団親善奨学生・学友に“世界奉仕賞”が授与されました。クリントン政権の大統領補佐官Philip Laderさんとインド駐在南ア大使Francis Moloiさんです。（写真3 & 4）
- 5) ビル&メリンダ・ゲーツ財団がポリオ撲滅のために1億5千万\$寄付したことでメリンダ・ゲーツ（ビル・ゲーツの父）が顕彰されました。（写真5）
- 6) ロータリーの識字率プログラムCLEの自体験者でいまは指導者のEmine Yuzak（トルコ）にRI会長ボイドさんが直接会長賞を与えました。（写真6）



(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)



(写真5)



(写真6)

次回はロサンゼルスで2008年6月に開催されます。お楽しみに。

国際ライラ受講生派遣報告

ライラ委員会

2006-2007年度地区委員長 熊澤勝則

・国際ライラ派遣の経緯

2006年8月に地区ライラ委員長宛に国際ライラ委員会より地区ライラ活動を成功に導くための資料がE-MAILにて届きました。その中に地区ガバナーと相談し国際ライラセミナーに受講生の参加を促す一文がありました。

9月の初旬にガバナーに相談し10月初旬に正式な要望書を提出し齋藤地区ガバナー関係地区役員の方の御理解を得て参加の準備に入りました。

そして2007年3月に受講生受入れの通知が届き参加が決定致しました。

・国際ライラセミナーに出発

6月13日にセントレアより受講生2名と私とライラ委員1名の計4名にて新世代委員会の加藤委員長の見送りを受けてソルトレイクシティに向けて出発致しました。

初めての参加という事で期待と不安の機中でした。

・国際ライラセミナーに参加

現地6月13日、夕方ソルトレイクシティエアポートに到着し早速ユタ大学へ向い登録を行いました。

セミナーには日本からは7名の受講生と1名のカウンセラー(2750地区 八幡ライラ委員長)が参加していました。

セミナーの内容はRYLAの歴史より始まり国際ライラの概要、グループの紹介、ライラにとっての6C'S-強力で想像力に富んだ包括的な指導力(=リーダーシップ)を発揮する全ての個人の特徴を表しておりRYLAの目標、寸劇の練習、行動におけるリーダーシップ、リーダーシップの形態、リーダーシップ理論の実行、実行する為の方法等、盛り沢山のプログラムが朝8:00~22:00まで缶詰状態で3日間行われました。

その他 Bill Boyd RI会長、サニー・ブラウン初代国際ライラ委員長等の講演があり3日間のセミナーが閉講しました。



・国際大会への参加



6月17日は夜の部のRI国際大会に参加しました。会場内では前の方にライラリアン用の席が用意してあり直近でセレモニーを堪能する事が出来ました。

会場では2007~2008年度、国際ライラ委員会の委員になれる東京恵比寿ロータリー海沼さんにお会いする事が出来ました。

この後、日本からの受講生を交えて各地区的ライラの状況、ライラセミナーの開催の方法、国際ライラセミナーへの積極的な参加、日本国内でのライラ委員会の交流等話し合いました。

最後にこの素晴らしい体験を基に地区ライラセミナーを含むこのプログラムの質の向上と、よりグローバルに展開される事を願います。

齋藤ガバナー始め地区関係役員様の方々には心より感謝申し上げます。



第18回(通算44回)インターアクトクラブ協議会開催報告

① 第18回インターアクトクラブ協議会プログラム

1. 日時 平成19年7月16日(月=海の日) 9:40~15:00
2. 会場 愛知大学 〒441-8522 豊橋市町畑町1-1 TEL 0532-47-4111
3. ホスト 豊橋ロータリークラブ
愛知県立豊橋商業高等学校インターアクトクラブ
4. テーマ 「心と心で会話しよう in Toyohashi」
5. 登録者 地区内ロータリアン 162名 インターアクトクラブ313名
講師、ブラジル人高校生、中国人留学生 55名 総参加者 530名
6. 日程
受付・登録 9:00~9:30
開会式 9:40~10:10
分科会 10:20~12:30
昼食 12:30~13:30
海外研修壮行会 13:40~14:00
全体会 14:00~14:40
閉会式 14:40~15:00
7. 分科会
第1分科会 「バルーンアート」花や犬の作り方実習、ピエロさんの芸
第2分科会 「連凧」作る、ギネスに挑戦する五並中学校との交流
第3分科会 「遊びのブースの作り方」イベント参加への企画運営実習
第4分科会 「市電でGO!」環境乗り物市電教室、運転体験
第5分科会 「ちくわにトライ」作る、焼く、食べる
第6分科会 「豊橋筆」作る、巨大習字を書く
第7分科会 「中国語と中国の文化について」中国語で歌を、挨拶を
第8分科会 「昔の遊び」お手玉の歴史や遊び方実習
第9分科会 「アミーゴ!ブラジル」サンバを踊りブラジル人と交流
第10分科会 「手遊び&絵本作り」子供やお年寄りとの触れ合い技術
第11分科会 「楽しく学ぶ、国際&環境問題にゆーもん」格差を学習

② 第18回インターアクトクラブ協議会のコンセプト

今回は豊橋商業高校インターアクトクラブが「心と心で会話しよう in Toyohashi」をテーマに掲げ次の3つのコンセプトで取り組みました。

1. 豊橋の特色を盛り込んだ、体験し、会話できる、分科会中心の協議会
2. 生徒の交流による楽しい協議会
3. 大学の教室、施設をお借りした簡素な運営

以上

◎ 協議会の内容報告は、9月号に掲載予定です。

国際ロータリー 第 2760 地区 第 1 回地区諮問委員会

日 時：2007年7月14日(土) A.M. 11:00～
場 所：名鉄グランドホテル

◇江崎ガバナー挨拶

◇協議事項

[出席者]

福田P. D. G.	加納P. D. G.	神戸P. D. G.
石川P. D. G.	松本P. D. G.	内藤P. D. G.
野村P. D. G.	福田P. D. G.	岡部P. D. G.
豊島P. D. G.	大島P. D. G.	斎藤P. D. G.
江崎D. G.	片山D. G. E.	

1. 2007～2008年度 地区大会関連委員会／委員の選任委嘱の件
2. 2007～2008年度 意義ある業績賞選考委員会／委員選任委嘱の件
3. 2007～2008年度 米山奨学会理事・評議員推薦の件
4. 2007～2008年度 米山梅吉記念館 評議員推薦の件
5. 2010年規定審議会 代議員選出の件
6. その他

[オブザーバー]

河村地区幹事 宮崎次期地区幹事
五藤地区副幹事

- ・地区協議会決算報告書について
- ・地区大会について (案)

[欠席者]

奥谷P. D. G.	盛田P. D. G.	宮地P. D. G.
蜂谷P. D. G.	太田P. D. G.	高橋P. D. G.

◇報告事項

- ・ソルトレイク国際大会の件
- ・2007年規定審議会サマリー

国際ロータリー 第 2760 地区 第 1 回 ガバナー補佐会議

2007年7月6日(金) 14:00～16:00
於：ウェスティンナゴヤキャッスル 3階萩の間

司会：地区スタッフ 増井洋生

式次第

開会の辞

- ・ガバナー挨拶
- ・地区研修リーダー挨拶
- ・オブザーバー紹介

……地区監事 長谷川 弘
……ガバナー 江崎 柳 節
……地区研修リーダー 豊島 徳 三
……地区幹事 河村 嘉 男



議題 1

- 1、次期ガバナー補佐選考について
- 2、2007年ソルトレイク国際大会報告 (別紙)
- 3、2007年規定審議会サマリー
- 4、各地区委員会の新年度の動向について
 - A 会員増強 (資料：1・2)
 - B ロータリー財団、米山奨学会への協力をお願い (資料：3・4)
 - C その他
- 5、11月17日指導者育成セミナーの進捗状況について
- 6、GSE受入分区、担当ガバナー補佐への説明と要請 (資料：5)
- 7、その他

議題 2

ガバナー事務所より確認事項

- 1、7月10日提出期限の効果的なクラブ運営に関するアンケート提出の件
- 2、次回 第2回ガバナー補佐会議
2007年12月1日(土) 16:00～20:00
名鉄グランドホテル
- 3、その他

閉会の辞 ……地区幹事 河村 嘉 男

2007年8月地区主要行事

〈地区委員会〉

- | | |
|---|--|
| ◆ 8月9日(木) 15:00~16:30
第2回地区米山奨学委員会 ガバナー事務所分室
◆ 8月10日(金) 16:00~20:00
第3回恒久基金委員会 名鉄犬山ホテル | ◆ 8月21日(火) 14:00~16:00
第2回新世代委員会 ガバナー事務所分室
◆ 8月21日(火) 17:00~18:30
第1回環境保全委員会 クレストンホテル |
|---|--|

〈地区内クラブ委員長会議〉

- | | |
|--|---|
| ◆ 8月21日(火) 11:30~16:30
職業奉仕委員長会議 名鉄ニューグランドホテル | ◆ 8月23日(木) 15:00~19:00
クラブ米山奨学委員長会議 キャッスルプラザ |
|--|---|

〈委員会主要行事〉

- | | | |
|------------------------|---------------------------|--------------|
| ◆ 8月4日(土) 14:00~17:00 | 2008~2009年度青少年交換・派遣生選考会 | ウィル愛知 |
| ◆ 8月18日(土) 14:00~17:00 | 2006~2007年度青少年交換・派遣生帰国報告会 | ウィル愛知 |
| ◆ 8月18日(土) 14:00~17:00 | I A C 海外派遣研修事後研修会 | 名古屋Y M C A |
| ◆ 8月26日(日) 13:30~ | 新奨学生のためのガイダンス(学友会と合同) | 名鉄ニューグランドホテル |

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま89号 ★

2007年7月12日発行

● 今月のトピックス

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. 寄付金速報
— 予算達成、ありがとうございます — | 4. 外務省の招へいで米山学友が来日 |
| 2. 財団設立40周年★オリジナル切手シートを発行! | 5. 米山学友がクラブ会長に!
【第2710地区 東広島RC】 |
| 3. 第1期現地採用奨学生がついにベトナムから来日 | 6. 名誉理事長が仏政府から勲章を受章 |

詳細は、米山記念奨学会ホームページ【[http:// www.rotary-yoneyama.or.jp /](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/)】をご覧ください。

変更のお知らせ

ガバナー事務所分室は7月12日(木)より

〈ロータリー財団関連〉	fbranch@rotary2760.org
〈米山奨学&青少年交換関連〉	ybranch@rotary2760.org

なお、現在のメールアドレス (office@rotary2760.org) は7月11日までとなりますので、ご注意ください。

岡崎城南ロータリークラブは7月15日より

新メールアドレス	info@okazaki-johnan-rc.net
新ホームページアドレス	http://okazaki-johnan-rc.net /

豊川ロータリークラブは本年度より

ホームページを開設いたしましたので、宜しくお願い致します。

[http:// www.toyokawa-rc.jp / index.html](http://www.toyokawa-rc.jp/index.html)

豊田西ロータリークラブは7月1日より

ホームページアドレスが変更となりましたので宜しくお願い致します。

[http:// www.tw-rc.jp](http://www.tw-rc.jp)

新城ロータリークラブ

shinshiro-rc@coda.ocn.ne.jp

名古屋守山ロータリークラブは今年度より

ホームページを立ち上げましたので、以下 ご案内させていただきます。

[http:// business4.plala.or.jp / moriyama /](http://business4.plala.or.jp/moriyama/)

友

インターネット速報

2007年7月3日 No. 291

❖ 2008年ロサンゼルスRI国際大会、6月15～18日

世界のエンターテインメントのメッカでスターとともにスポットライトを浴びませんか。ロサンゼルスは、国際ロータリーの年次国際大会としてはまさに理想の舞台です。380万人の人口をもつこの大都市は、ロータリー家族のように、さまざまな人種と国際的な活気を誇りとしています。アメリカ第2の都市、ロサンゼルスは、スターが集まる映画産業から、美しい海岸沿いの観光地やリゾートまで、活気と文化で満ちあふれています。早めに登録してお得な割引を特別割引を利用するために、国際大会に早めに登録しましょう。

*第1締切日：2007年12月15日 *第2締切日：2008年3月31日

オンライン登録をご利用ください。安全で便利。登録後に確認通知がEメールで送られます。

登録書式は、<http://www.rotary.org/languages/japanese/events/conventions/2008/index.html> からダウンロードすることができます。

また、国際大会参加のツアーを計画している地区もありますので、詳細は各ガバナー事務所にお問い合わせください。

❖ 「ロータリージャパン」ホームページ情報

新しいロータリー年度が始まりました。

『ロータリーの友』7月号では、ウィルフリッド J. ウィルキンソン新RI会長のこれまでの歩み、方針、また出身地カナダのロータリーの活動、日本国内のガバナー紹介を掲載しています。

なお毎月28日には、次の月の『友』誌の掲載内容を簡単にご紹介していますので、ぜひご覧ください。

発行：ロータリーの友事務所
 ホームページ……<http://www.rotary.or.jp>
 Eメール・ホームページについては……web@rotary-no-tomo.jp
 編集については……hensyu@rotary-no-tomo.jp

文庫通信 (238号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

❖ 先輩のロータリー観 ❖

- ◎ 「戦前の日本ロータリー」
直木太郎 関西ロータリー研究会 1972 25p
- ◎ 「温故知新—ロータリーの今昔」
遠藤健三 D.263 1987 7p
- ◎ 「佐々木孝三郎遺稿集(別冊)」
佐々木統一郎 1972 27p
- ◎ 「常に四つのテストを」
富久力松 他 大阪R.C [1983] 35p
- ◎ 「職業奉仕の研究」
前原勝樹 [1980] 18p
- ◎ 「職業奉仕の勘どころ」
秦孝治郎 D.366 1971 93p
- ◎ 「綱領の中の「奉仕」についての研究」
山下静雄 1979 3p
- ◎ 「火種はみんな持っている(抄)」
松本兼二郎 八幡西R.C 1969 31p

【上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)】

『文庫通信』が
インターネットで資料の検索から
プリントまで出来るように電子化
いたしました。



ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
 TEL (03)3459-7806 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

ガバナーからの

お知らせ

豊田
ロータリークラブ

豊田広域ロータリーアクトクラブ創立について

パスト会長 川 崙 英 徳



期末も押し迫った6月24日(日)、2760地区9番目のロータリーアクトクラブを創立する事が出来ました。創立にあたっては斎藤ガバナーはじめ、地区役員の皆様方のご指導と豊田地域5ロータリークラブの新旧会長、幹事、新世代委員長のご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

新しいロータリーアクトクラブを元気のある豊田地区5ロータリーがスポンサークラブになって創ってはどうかとの話が出てきたのが6カ月前の昨年12月でした。事前のロータリーアクトクラブに対する知識や、活動内容を理解している者はほとんどなく、期初に計画もなかった為、当初はなかなか盛り上がりず、地区役員の方々に何度となくお越しいただき、レクチャーをしていただきました。

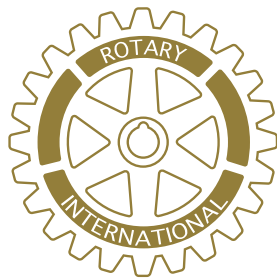
それでも本格的に動き出したのは3月頃からだったように思います。私自身がロータリーアクトクラブの意義と活動内容を真に理解できたのは、名古屋熱田ロータリーアクトクラブの例会にオブザーバー出席させていただき、現地現物で活動内容を確認した4月中頃だったと思います。一時は6月末までに創立できるか危惧することもありましたが、地区副幹事、秋田氏の献身的なご努力もあり、創立日には16名でスタートを切ることが出来た次第です。当日は斎藤ガバナー、加藤ガバナー補佐、江崎ガバナーエレクトなど、地区からも多数出席いただいた事と、地区内先輩ロータリーアクトクラブからも多数参加いただき、心から感謝申し上げます。



式典後、名鉄トヨタホテルに席を変え、我々5ロータリークラブからの出席者もまじえ、約100名の皆さん方で盛大に16名の新メンバーを祝福し激励する事ができました。

これからは、先輩クラブの歴史や活動内容をよく勉強し、特色のあるロータリーアクトクラブに成長していくよう期待しています。我々5ロータリークラブも積極的に支援していくつもりです。





ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760



表紙に寄せて

人生の記録 撮影 江崎 柳節

再び繰り返すことがないこの人生の記録を自分自身のために残すことはなかなか難しいことだと日頃思っています。行く先々の印象を絵にすることも俳句に詠み残すことも試みました。日記さえろくに書かない自分に愛想を尽かしておりました。そしてある時、カメラこそこれを補って、さらに再現性にもすぐれた、何よりも手っ取り早いメディアであるとおもい立ち、行く先々で撮って参りました。月信作成経費だけで実はRIのガバナー支援額は飛んでしまうほどお粗末な現状です。会長幹事様に毎月お届けする月信の、経費節減にもなるので私の写真で表紙を飾らせて(?)戴くことを地区幹事の河村さんが決めました。かような始末ですがご理解賜りますように。(江崎)

ガバナー事務所

〒485-0041 小牧市小牧五丁目253
小牧商工会議所会館5F
TEL0568-74-6111 FAX0568-74-6112
HP : <http://www.rotary2760.org>
E-mail : governor07-08@rotary2760.org